

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	02	01
細事業名		消防本部総務業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 消防業務の企画・調整及び施設の管理、職員の被服等貸与品並びに安全管理等を行い、消防職員の規律と士気、体力の維持向上に努める。 1 常備消防体制の強化
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防の義務として、消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行なった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	381	国庫支出金		
	10	41	府支出金		
	11	5,276	起債		
	12	1,652	分担金・負担金		
	13	928	その他		
	14	716			
	19	431			
事業費合計		9,425	一般財源		9,425
			合計		9,425

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行った。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行った。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行った。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">H20年度10,639千円 H21年度9,425千円 ▲1,214千円減額(▲11.4%) 新型インフルエンザ予防接種料等の職員の衛生管理に対する経費が増加するなか、経費縮減に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	H20年度10,639千円 H21年度9,425千円 ▲1,214千円減額(▲11.4%) 新型インフルエンザ予防接種料等の職員の衛生管理に対する経費が増加するなか、経費縮減に努めた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	H20年度10,639千円 H21年度9,425千円 ▲1,214千円減額(▲11.4%) 新型インフルエンザ予防接種料等の職員の衛生管理に対する経費が増加するなか、経費縮減に努めた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行なっていく。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行なっていく。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行なっていく。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後、地区が過疎・高齢化し、業務が高度、専門化してゆくなかで、365日24時間体制の常備消防の業務は増加してゆくと思われます。その体制を運用維持することは必要です。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	今後、地区が過疎・高齢化し、業務が高度、専門化してゆくなかで、365日24時間体制の常備消防の業務は増加してゆくと思われます。その体制を運用維持することは必要です。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	今後、地区が過疎・高齢化し、業務が高度、専門化してゆくなかで、365日24時間体制の常備消防の業務は増加してゆくと思われます。その体制を運用維持することは必要です。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	03	01
細事業名		救急救命士養成業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 大切な命を救うための救急業務は、平成3年の救急救命士制度の発足により、飛躍的に高度なものとなっています。市民の救急救命士に対する期待も高く、常時運用をおこなうために20人以上を必要とし、計画的な養成を必要とする。 救急救命士が、常時救急車に乗車して活動を行うために20人以上を必要とし、計画的に養成していく必要がある。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 救急救命士を計画的に養成するために、(財)救急救命士養成所に職員派遣や近隣の病院に実地研修を依頼した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投与他講習1人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	973	国庫支出金		
	13	440	府支出金		
	19	3,145	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		4,558
事業費合計		4,558	合計		4,558

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投与講習1人 今年度も救急救命士を1人新規養成し、現在16人になったが、退職等により昨年より1人減員である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投与講習1人 今年度も救急救命士を1人新規養成し、現在16人になったが、退職等により昨年より1人減員である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投与講習1人 今年度も救急救命士を1人新規養成し、現在16人になったが、退職等により昨年より1人減員である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">救急救命士が常時救急車に乗車し救急救命処置活動をするために20人以上が必要である。現在16人なので今後も計画的に新規養成していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	救急救命士が常時救急車に乗車し救急救命処置活動をするために20人以上が必要である。現在16人なので今後も計画的に新規養成していく必要がある。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	救急救命士が常時救急車に乗車し救急救命処置活動をするために20人以上が必要である。現在16人なので今後も計画的に新規養成していく必要がある。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">最低限、毎年1人の計画的な養成が必要。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	最低限、毎年1人の計画的な養成が必要。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	最低限、毎年1人の計画的な養成が必要。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">複数名の養成が望ましいが、職員数から難しい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	複数名の養成が望ましいが、職員数から難しい。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	複数名の養成が望ましいが、職員数から難しい。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	03	02
細事業名		消防学校等研修派遣業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 複雑多様化する消防業務に対応するため、あらゆる場面を想定した災害・救助、救急訓練、研修等に参加し、最先端の高度・専門技能や知識を学ぶことで、職員の資質向上とあわせ、安全・安心なまちづくりを目指す。 事業の目的 (何を対象に、何をしたか) 消防職員を対象に、京都府立消防学校等が計画する講習会や研修会に参加した。 平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 広い見識と専門知識を持った消防職員を養成することで災害対応能力が向上した。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) あらゆる場面を想定した災害・救助・救急訓練、研修等に参加し、最先端の高度な専門技能や知識を学ぶことで、職員の資質向上とあわせ、安全・安心なまちづくりを目指す。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 消防職員を対象に、京都府立消防学校等が計画する講習会や研修会に参加した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 広い見識と専門知識を持った消防職員を養成することで災害対応能力が向上した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	1,909	財源内訳	国庫支出金	
	13	15		府支出金	
	14	128		起債	
	19	1,646		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	3,698	
事業費合計		3,698	合計	3,698	

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 職員の資質を向上させるため、災害・救助救急訓練、教育研修等に現場人員をやりくりしながら、研修等へ派遣することができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 H20年度4,198千円 H21年度3,698千円 ▲500千円減額(▲11.9%) 職員の資質を向上させるため、災害・救助救急訓練等に参加することは必要であるが、経費の縮減を図った。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 現在程度の計画的な養成が必要。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 もっと多様な研修派遣が望ましいが、現場職員数から難しい。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	04	01
細事業名		予防啓発業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火災予防のチラシ、ポスターの作成配布、防火講習会の開催などの啓発事業を行い、事業所等への立ち入り検査、指導体制を推進する。住宅用火災警報器設置を推進する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民を対象に、火災予防のチラシ、ポスターの作成配布、防火講習会の開催などの啓発活動をおこなった。事業所等への立ち入り検査、指導を推進した。住宅用火災警報器の設置推進に向けて各地区で説明会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	80	財源内訳	国庫支出金	
	11	560		府支出金	
	16	89		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	729	
事業費合計		729	合計		729

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">火災発生件数 (H19 24件、H20 18件、H21 12件)と減少してきているが、火災は無くなっていない。火災0件を目標とし、減少に努める。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	火災発生件数 (H19 24件、H20 18件、H21 12件)と減少してきているが、火災は無くなっていない。火災0件を目標とし、減少に努める。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	火災発生件数 (H19 24件、H20 18件、H21 12件)と減少してきているが、火災は無くなっていない。火災0件を目標とし、減少に努める。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">火災発生件数は毎年減少しているが、市民の防災意識が高まり啓蒙活動への要望も増えている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	火災発生件数は毎年減少しているが、市民の防災意識が高まり啓蒙活動への要望も増えている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	火災発生件数は毎年減少しているが、市民の防災意識が高まり啓蒙活動への要望も増えている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">多種多様な媒介を利用して広報を行う必要があるが、やはり集会や行事に参加して対面指導が必要であり、継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	多種多様な媒介を利用して広報を行う必要があるが、やはり集会や行事に参加して対面指導が必要であり、継続が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	多種多様な媒介を利用して広報を行う必要があるが、やはり集会や行事に参加して対面指導が必要であり、継続が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も多種多様な媒介を利用して広報を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	今後も多種多様な媒介を利用して広報を行う必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	今後も多種多様な媒介を利用して広報を行う必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	05	01
細事業名		救急活動業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>VI うるおい安全都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>⑧ 消防・防災体制の強化</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>1 常備消防体制の強化</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市	計画項目 (施策)	⑧ 消防・防災体制の強化	施策方針	1 常備消防体制の強化
基本方針 (政策)	VI うるおい安全都市						
計画項目 (施策)	⑧ 消防・防災体制の強化						
施策方針	1 常備消防体制の強化						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>大切な命を救うため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるとともに、「早い通報」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して暮らせるまちづくりを目指す。</td> </tr> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	大切な命を救うため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるとともに、「早い通報」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		
(どのような目的で事業を実施するか)	大切な命を救うため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるとともに、「早い通報」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して暮らせるまちづくりを目指す。						
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)						

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民の生命・身体・財産を守り、安全、安心の京丹後市をつくるため、365日24時間体制で救急要請を受け、出動し活動した。 救急出動件数は、(H19 2,296件、H20 2,173件、H21 2,187件)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	2,564	財源内訳	国庫支出金	
	13	2,459		府支出金	
	18	239		起債	
		225		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	5,487	
事業費合計		5,487	合計		5,487

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)</p> <p>理由 365日24時間体制で救急要請を受け、出動活動を行った。</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった</p> <p>理由 H20年度5,542千円 H21年度5,486千円 ▲56千円減額(▲1.0%) C型肝炎、新型インフルエンザ等の感染防止への対応強化され、それに伴い使い捨てしなければならない救急消耗品経費が増加したが、事業経費が増加しないよう縮減に努めた。</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</p> <p>理由 救急出動という住民ニーズに対応する必要がある。</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</p> <p>理由 ドクターヘリ導入等、今後ますます高度な救命救急体制の充実が望まれる。</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-6

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 09	項 01	目 01	事業 05	細事業 02
細事業名	救急啓発業務					

担当部署	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 大切な命を救うため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるとともに、「早い通報」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して暮らせるまちづくりを目指す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 救命啓発活動は、市民の生命身体を守ることに直接繋がるので、さらに活動を充実してゆく。 普通救急講習受講者(3時間) 700人 救マーク認定事業所 100事業所

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民に、救命率を上げるために救命講習を行い、救命技術を積極的に普及させた。上級救急救命講習の修了者が常駐する事業所を「救マーク認定事業所」として認定した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 普通救急講習受講者(3時間) 699人(全受講者2,868人) 講習会開催回数 96回 救マーク新規認定事業所 12事業所(総事業所数96事業所)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	218	国庫支出金		
	18	733	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	日本防火協会助成	60
			一般財源		891
事業費合計		951	合計		951

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">救急救命活動は、市民の生命・身体を守ることに直接繋がる活動であり、積極的に推進した。救命講習会の人気も高く、すぐ定員に達し、学校等から依頼のある一般救命講習(1時間)も日程調整に苦慮した状況であった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	救急救命活動は、市民の生命・身体を守ることに直接繋がる活動であり、積極的に推進した。救命講習会の人気も高く、すぐ定員に達し、学校等から依頼のある一般救命講習(1時間)も日程調整に苦慮した状況であった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	救急救命活動は、市民の生命・身体を守ることに直接繋がる活動であり、積極的に推進した。救命講習会の人気も高く、すぐ定員に達し、学校等から依頼のある一般救命講習(1時間)も日程調整に苦慮した状況であった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民の防災意識の高まりにより、救命啓発活動の要望が増えてきている状況である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民の防災意識の高まりにより、救命啓発活動の要望が増えてきている状況である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市民の防災意識の高まりにより、救命啓発活動の要望が増えてきている状況である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">救命講習会がすぐに定員に達しているが、さらに機会を捉えて普通救命講習(3時間)修了者を増やす必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	救命講習会がすぐに定員に達しているが、さらに機会を捉えて普通救命講習(3時間)修了者を増やす必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	救命講習会がすぐに定員に達しているが、さらに機会を捉えて普通救命講習(3時間)修了者を増やす必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>B 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">回数を増やすことは、職員派遣の面から厳しくなっているため、1時間の一般講習から3時間の普通救命講習に移行していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>A 事業拡大</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B 現状維持	理由	回数を増やすことは、職員派遣の面から厳しくなっているため、1時間の一般講習から3時間の普通救命講習に移行していく必要がある。	A 事業拡大
B 現状維持	理由	回数を増やすことは、職員派遣の面から厳しくなっているため、1時間の一般講習から3時間の普通救命講習に移行していく必要がある。			
A 事業拡大					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	06	01
細事業名		通信指令施設維持管理業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化
	施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 通信指令業務は、火災・救急等の通知を受けてから、出勤を指令し、現場の活動支援を行うなど、受信から事業終了までを迅速・的確に行うことが求められている。</p> <p>事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</p>
	平成26年度事業の効果目標 1 常備消防体制の強化

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市民に、365日24時間体制の常備消防の義務として、通信指令システムに不具合が生じないよう、常に適切な保守管理や整備を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民の生命・身体・財産を守り、安心安全なまちづくりを行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	38	国庫支出金		
	11	4,314	府支出金		
	12	4,579	起債		
	13	12,369	分担金・負担金		
	18	0	その他		
			一般財源		21,300
事業費合計		21,300	合計		21,300

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている)</p> <p>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 365日24時間体制の119番施設の適切な運用維持を行った。119番受信件数 3,406件</p> <p>○ × 遅れている(できていない)</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった</p> <p>○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 平成13年に整備したコンピュータシステムが整備後7年を経過し、経年劣化による修繕、部品交換は毎年避けられない。</p> <p>○ × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A A 現状維持</p> <p>B B 内容の見直し 理由 通信機器の発達に合わせた機器整備が必要となるが、当面維持保守に努めて現状維持とする。</p> <p>C C 統廃合・休止・終了</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>B A 事業拡大</p> <p>B B 現状維持 理由 通信機器の発達に合わせた機器整備が必要となるが、当面維持保守に努めて現状維持とする。</p> <p>C C 事業縮小</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	01	07	01
細事業名		庁舎等維持管理業務				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	消防庁舎は火災・救急等に備え、日夜職員が就業する施設であり、適切な職場環境づくりと適切な施設修繕等を行う必要がある。また、消防車両は火災現場の一線で活躍する車両であり、その機能・安全性が常に確保できるよう保守整備に努め、災害対応に万全を期す必要がある。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	本部訓練等庁舎・網野・久美浜・竹野川庁舎、指令車・救急車化学消防ポンプ・救助工作車ほか計18台 365日24時間体制の常備消防の義務として、消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な保守管理や整備を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民の生命・身体・財産を守り、安心安全のまちづくりを行った。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	14,657	国庫支出金		
	12	904	府支出金		
	13	387	起債		
	14	318	分担金・負担金		
	18	19	その他		
	27	479			
事業費合計		16,764	一般財源		16,764
			合計		16,764

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">常備消防の運用維持のため、消防庁舎や消防車両を常に適切な保守管理や修繕整備を行った。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	常備消防の運用維持のため、消防庁舎や消防車両を常に適切な保守管理や修繕整備を行った。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	常備消防の運用維持のため、消防庁舎や消防車両を常に適切な保守管理や修繕整備を行った。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">H20年度20,459千円 H21年度16,764千円 ▲3,695千円減額(▲18.1%) 燃料費、光熱費、修繕料等の経費縮減に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	H20年度20,459千円 H21年度16,764千円 ▲3,695千円減額(▲18.1%) 燃料費、光熱費、修繕料等の経費縮減に努めた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	H20年度20,459千円 H21年度16,764千円 ▲3,695千円減額(▲18.1%) 燃料費、光熱費、修繕料等の経費縮減に努めた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	市民の安心安全に直接繋がる常備消防の運用維持するため、常に適切な保守管理や整備を行う必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	市民の安心安全に直接繋がる常備消防の運用維持するため、常に適切な保守管理や整備を行う必要がある。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
36-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	09	01	03	01	
	細事業名	常備消防施設等整備事業				

担当部局	消防本部
担当課等	総務課
担当課長の氏名	河野矢 秀
担当者の氏名	松本 隆雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑧ 消防・防災体制の強化 施策方針 1 常備消防体制の強化
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 消防車両などの資機材は、火災現場の第一線で活躍するものであり、その機能・安全性が常に確保できるよう整備に努め、災害対応に万全を期する。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 消防体制に不具合が生じないよう、消防車両や救命処置用資機材の整備や更新を行うことで、市民の生命身体財産を守り、安心安全なまちづくりをおこなう。</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指令車・救急車・化学消防ポンプ・救助工作車及び資機材に365日24時間体制の常備消防の義務として、消防体制に不具合が生じないよう、整備や更新を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民の生命・身体・財産を守り、安心安全のまちづくりをおこなった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 高規格消防自動車1台 高度救命処置用資機材整備 市民の安心安全に直接繋がる消防車両等の資機材の整備更新をおこなった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	12	95	国庫支出金	緊急消防援助隊設備 12,130
	18	29,044	府支出金	
	27	51	起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	17,060
事業費合計		29,190	合計	29,190

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 今年度は、老朽化した救急車1台の更新や高度救命処置機材の整備を行った。 × 遅れている(できていない)</p> <p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 理由 365日24時間の常備消防体制に不具合を生じさせないよう、計画的に消防車両や救命処置用資器材の更新や整備を必要とします。 × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 消防車両や救命処置用資機材の整備や更新を行うことで、市民の生命身体財産を守り、安心安全なまちづくりをおこなう。</p> <p>事業規模の方向性</p> <p>B A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 365日24時間の常備消防の義務として、消防体制に不具合を生じさせないよう、消防車両や救命処置用資器材の整備や更新が必要である。</p>